



# 妻北っ子だより

令和3年度 9月号 文責 校長

## 2学期スタート

8月25日(水)、2学期の始業日を迎えました。コロナウィルス感染拡大が心配される中ではありますが、降り注ぐ太陽の光の下、汗をかきながらもマスクを着用し、夏休み中に仕上げた作品を両手に抱えて歩く姿に感動を覚え、登校を見届けたところです。



### 「2学期の目ひょう」 金丸 小暖

私は2学期にがんばりたいことが二つあります。

一つ目は算数です。

私は算数が苦手なので、算数の授業や宿題が出ると、正直「だるいなあ」と思ってしまうことがありました。でも、問題がとけた時はうれしいので、2学期はだるいと思わず、授業を受けて算数を楽しみ、たくさん問題を正かいにしたいです。

二つ目は早ね早起きです。

一学期、私はなかなか起きることができず、いつもお母さんに起こされていました。自分で起きることができると、気分も良くじゅんびも早くできるので、本当は自分で起きたいです。

夏休み中も早ね早起きを意識してがんばってみました。早ねは毎日することができ、最初のころは早く起きることができました。しかし、と中から「夏休みだし。」という気持ちめばえてしまい、早く起きれない日もありました。自分の気持ちを強く持たないといけないなとあらためて思ったので、これからがんばりたいです。

### 「2学期がんばりたいこと」 池田 春

私は1学期にできなかったことが二つありました。

一つ目は、ろうか歩行です。

私は、友達と運動場の階段から教室までいつも3列ぐらいで横にならんで歩いていました。6年生や5年生から注意されてもなかなか止めることができませんでした。

なので、2学期からは1列で歩けるといいなと思います。

二つ目は、漢字です。

先生から教わっても間ちがってしまうことがあります。例えば、図書館の「館」を感想の「感」と書いたり、感想の「想」を相談の「相」と書いたりすることです。

私は、前のテストで96点をとったとき、とてもがっかりしました。もうこんな思いをしたくないので、2学期は一生けんめいがんばりたいと思います。

1学期にできなかったこの二つのことを、2学期にはぜったいにやりとげたいと思います。

## 今こそ「人権意識」を高く持ちましょう！

コロナウィルス感染の第5波・・・。  
デルタ株の出現により家庭内感染が心配され、  
「いつ、どこで、だれが感染したり、濃厚接触者になったりするかわからない」  
状況になっています。

学校においては、「密を避ける、マスク着用、手指消毒」に加え、児童・保護者・  
職員の発熱等の情報共有、学校施設の消毒等、想定できることを積極的にを行い、  
常に「もしも」を意識した安心・安全な環境づくりに努めているところです。

今後、懸念されるのは「心」の部分です。

例えば、市の「12歳以上のワクチン接種」が開始される場合の留意点です。  
ワクチン接種は、基本的に「任意」です。「基礎疾患がある」「副反応が怖い」等  
の理由により、個人の判断で接種を控えることを理解しておきましょう。  
周囲に「接種したかどうか」や「接種しなかった理由」を聞いたりする必要はありません。

二つ目の例として、保護者や子どもさんに陽性が確認された場合の留意点です。  
陽性が確認された時点で、保健所や医療機関から感染予防に係る適切な指導が行  
われていることを理解しておきましょう。

子どもさんについては、およそ2週間程度自宅等で待機し、再検査後安全が確認  
されたら、登校できるようになっています。

お休みしている理由をおやみに知りたがったり、「～じゃげな」と周囲に広げたり  
することのないよう、子どもたちには指導しています。

国内では、「家庭全員が感染」「子どもから保護者に感染」「保護者は陽性、子ども  
は陰性」等々、様々な事例があり、そのたびに「心ない言葉やうわさ」に心を痛めて  
いる方々がいるという記事を目にしました。

私たち大人が「心までコロナウィルスに侵されない」という意識を持ち、日頃から  
子どもたちの手本となる言葉を使い、行動を示していきましょう。

また、運動会の練習も始まりました。けがや病気の予防はもちろんのこと、人権教  
育に係る取組やいじめ防止対策についての取組も強化していきます。子どもさんの  
様子について気になることがありましたら、遠慮なくご相談ください。

## 東京オリンピック、パラリンピック終了！

スポーツの素晴らしさ、競技や競技する人々の多様性等を目にすることになったオリ  
ンピック・パラリンピックが終わりました。

子どもたちには、「コロナ禍で外に出られない分、オリンピックやパラリンピックを見  
てほしい」というお願いをしていました。

メダルを獲得した選手も、惜しくも届かなかった選手も、それぞれの競技に出場でき  
たことや、出場するまでにお世話になった方々や声援を送ってくれた方々へ「感謝」の言葉  
を述べる場面を視聴するたびに、「スポーツは『する人・見る人・支える人』で成り立っ  
ている」ことを痛感したところです。

機会を見付けて「ポッチャ」という競技をやってみたいなあと思っています。

# 賛 否 両 論

※ 県内でコロナウィルス感染者が増加し、特にデルタ株による感染が心配されています。

学校においても考えられる防止対策（3密回避、マスク必着、換気・消毒の徹底、初音等への対応等）を積極的に行っていき

終業式で、

「命を守る方法のために『もしも～だったら』と予想して行動してください」

という話をしました。

道路への飛び出し、川での遊泳、近隣で育てている草花への配慮、公園でのごみ散乱の事例も示しました。

生徒指導担当からも、より具体的な安全や規律指導が行われ、子どもたちは夏休みを迎えました。

その日の午後、「自転車による飛び出し」について、運転されていた方から、学校へ連絡がありました。

車は徐行していたが、自転車は横断歩道のない交差点で左右の確認もなく進入してきたため、急ブレーキを踏んだとのことでした。

学校で伝えたことや指導したことが、全ての子どもたちに伝わり、定着し、よりよい行